大和市立中央林間小学校

令和8年11月2日

学校だより

11月号

重点目標　「みんなでいっぽ」

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果から

カリキュラム開発部
児童活動・理解部

【調査結果の見方】〇:概ね良好な内容 ▼:課題となった内容 ☆今後の指導や方向性について

学力調査

国 語：正答率については、全国平均・神奈川県平均より高い結果となりました。

〇「読むこと 思考力・判断力・表現力等」についての正答率が高いです。特に、「文章を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く」の正答率が高いです。また、無解答率が全国と比べても低くなっています。設問を読み、あきらめずに取り組む姿勢が見られました。

〇質問紙「国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていますか」の項目では、肯定的に回答する児童が多いです。今までの学習で取り組んだ成果と言えます。

▼質問紙「国語の勉強は得意ですか」「国語の勉強は好きですか」の項目では、肯定的な回答が低く、国語の学習について、消極的な児童が約半数いることが分かりました。

☆今後も国語を学ぶことの楽しさや面白さを実感できる授業づくりに努めていきます。

算 数：正答率については、全国平均・神奈川県平均より高い結果となりました。

〇「数と計算」「データの活用」の正答率が高いです。どの設問においても基礎的・基本的な知識や技能が着実に定着していることがうかがえます。

▼「単位量あたりの大きさ」について、広場の混み具合を求める式の意味を説明する問いに課題がありました。

☆友達と交流する活動を通して、一人ひとりの考えを認め、式が表す意味を具体的な場面と結びつけて考えたり、自分の考えを言葉で説明したりする学習を充実させていきます。

学習状況調査

学習及び学校生活・家庭学習・生活習慣

〇1人1台端末を有効的に活用できているようです。ICT機器を活用し、情報を収集・整理したり、図や表、グラフなどを用いたりしながら、分かりやすくまとめることができているようです。

▼「人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」という回答が全国平均よりも低いことが分かりました。

☆本校では、「『分かった!できた!伝えたい!』をつなぐ授業の創造」を、校内研究主題として学校全体で取り組んでいます。分かったことやできたことを意欲的に伝え合うためには、間違えても大丈夫と思うことができ、自分の言いたいことが言える環境をつくり、他者の考え方の違いから色々な意見を聴いて学ぶ授業づくりに努めています。今後も学校生活において、みんなが輝くためのいっぽをめざしていきます。

社会に対する興味・関心及び規範意識

〇昨年度「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」とあてはまる回答が、全国平均よりも低い結果がみられましたが、今年度は全国平均には届かないものの昨年度よりも割合が増加しました。また、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問についても昨年度よりも割合が上がりました。

▼「学校へ行くのは楽しいと思いますか」という質問に全国や昨年度と比較して低い結果となっています。

☆道徳や学級活動、外部講師の講演などを通して「いじめは絶対にダメなこと」を伝えたことの成果が出てきているようです。今後もいじめ防止の指導や相談体制の充実に向けて取り組んでいきます。学校で行っている「よりよい学校生活のアンケート」では、「あなたは、学校が楽しいですか」という問いがあります。児童の気持ちに寄り添い話を聞き、課題について解決に向けて取り組みます。また、人との関わりの中で学ぶ楽しさを伝えられるように教育活動を行っていきます。